

# 育成

モノづくり人材  
Vol. 15

## 岡山県立津山工業高校

津山工業高校は1941年、岡山県北部唯一の工業高校として土木と建築の2学科で創立された。以来、機械、電気工業化学、電子機



立石校長

械と徐々に学科を充実。2010年には近くの三削高校を吸収する形でデザイン科を設置。現在は7専門科に816人が在籍する。校長は「純朴だがしっかりと自分の考えがあ

も独自性が高い。ここで育まれた生徒

【DATA】▷校長＝立石潤一郎氏▷所在地＝岡山県津山市▷学科構成＝建築科、土木科、機械科、電気科、工業化学科、電子機械科、デザイン科▷生徒数＝816人▷主な実習設備＝材料試験機、マシンングセンター、放電加工機、破壊試験室、CAD実習室など▷主な進路＝岡山理科大、美作大、広島工業大、JFEスチール、パナソニックエレクトロニックデバイスジャパン、山田養蜂場、銘建工業など

## 地域創生の担い手目指す

同じ岡山でも北部は「と評する。また現倉敷や瀬戸内など県南部とは気候や地勢が異なり、山がちで森林資源が豊かだ。特に津山戸時代後期にわが国の洋学研究の始まりとなるなど歴史や文化的に

同じ岡山でも北部は「と評する。また現倉敷や瀬戸内など県南部とは気候や地勢が異なり、山がちで森林資源が豊かだ。特に津山戸時代後期にわが国の洋学研究の始まりとなるなど歴史や文化的に

倉敷や瀬戸内など県南 在は女生徒が2割を占 部とは気候や地勢が異 らも良いことでは」と 部とは気候や地勢が異 らも良いことでは」と 部とは気候や地勢が異 らも良いことでは」と

性 の製造業進出の面か 活動体験などの環境教 トリー」は好評で、15 年度は真庭市、美作市 中でも開催。延べ2200 0人が参加した。 これら続ける理由 中山間地域と同様過疎 けた同校の試みはこれ からが本番を迎える。

性 の製造業進出の面か 活動体験などの環境教 トリー」は好評で、15 年度は真庭市、美作市 中でも開催。延べ2200 0人が参加した。 これら続ける理由 中山間地域と同様過疎 けた同校の試みはこれ からが本番を迎える。

性 の製造業進出の面か 活動体験などの環境教 トリー」は好評で、15 年度は真庭市、美作市 中でも開催。延べ2200 0人が参加した。 これら続ける理由 中山間地域と同様過疎 けた同校の試みはこれ からが本番を迎える。

性 の製造業進出の面か 活動体験などの環境教 トリー」は好評で、15 年度は真庭市、美作市 中でも開催。延べ2200 0人が参加した。 これら続ける理由 中山間地域と同様過疎 けた同校の試みはこれ からが本番を迎える。



津山工業オープンファクトリーで子どもたちに仕事を指導する津山工高生

化が図れず、存在意義すらなくしかねない。

しかし、ここで育った生徒たちに地域への理解と愛着をあらためて育み、地域に貢献できる社会人として送り出せれば、地元の人材ニーズに応えるだけで

なく互いの活性化にも役立つとされるはずだ。いわば、工業高校による地域創生」に向

けた同校の試みはこれからが本番を迎える。

（岡山支局長・浅田一朗）

（金曜日掲載）